

**ＩＣＴの教育活用に関するアンケート実施**

～文科省方針を知っている、わずか２１．８パーセント～

昨年9月、栄光ゼミナールはＩＣＴの教育活用について、全国の５００人の母親を対象にｗｅｂによるアンケート調査を実施した。その結果、文部科学省の方針「2020年には1人に1台のタブレット」について、知っている母親はわずか２１．８％にとどまっていることがわかった。一方、その方針については「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせると６３．６％の母親が支持をしている。

政府方針を知っているか

政府方針に賛成か反対か

★６８．８パーセントの母親が、「我が子には情報リテラシーの修得」を希望

「21世紀型能力として情報リテラシーが大切と  
いわれています。お子さまには、情報リテラシー  
を身に着けてほしいと望みますか」との質問に対  
して、「強く望む」が36.0%、「望む」が32.8%と  
回答した。一方、「それほどには望まない」「望ま  
ない」は合わせても5.4%と極めて低い。

情報リテラシーの習得を希望

また、「1人に1台のタブレット」という政府方針  
に賛成の母親ほど情報リテラシーの修得を強く望み、  
「どちらかといえば反対」の母親では「ふつう」と  
の回答が45%を占め、「反対」の母親では「それほ  
ど望まない」「望まない」の合計が27%となった。  
逆にとらえれば、子どもに情報リテラシーを望む母親ほど、政府の方針を支持している。

※すべての質問に対して、政府方針に対する支持別のデータを作成しています。希望される場合  
は、問い合わせ先まで請求してください。

★ICTの教育活用で適している機器は、タブレットとノートPC

「タブレット」、「ノートPC」との回答が圧倒的に多い。特に「iPad」「iPad mini」は53.4%と過半数の支持を得た。スマートフォンを支持する母親は極めて少数。一方、「使用する必要はない」との否定的な意見は9%とわずかである。母親が持っているICT機器ではスマートフォンとPCが圧倒的に多いが、教育への活用ではポータブル性や機能からタブレットが支持されたとも考えられる。※複数回答可

使用に適しているICT機器　※複数回答可

母親が持っているICT機器　※複数回答可

母親が持っている機器を年代別で調べると、年代が上がるほどスマートフォンの保有率は下がる(20代では91%、50代では55%)。また30代から50代ではタブレット保有について、家族共用ではあるが20%を超えている。50代では60%の母親が自分用PCを持っている。

※すべての質問に対して、年代別のデータを作成しています。希望される場合は、問い合わせ先まで請求してください。

★ICT機器使用の学習場所は？　学校と家庭の居間が7割以上、学習塾36%。

「お子様の学習にICT機器を使用するとき、使用に適している場所は？」と尋ねたところ、学校が76.4%、家庭(居間)が75.2%と高い回答を得た。家庭(子供部屋)の回答が9.8%にとどまっていることから、教師や親の目の届くところで使用させたいとの考えが浮かび上がる。

また、学習塾と回答した母親も35.8%にのぼる。ほとんどの学習塾がまだ導入していない現状を考慮すると、学習塾のICT活用教育にも強い期待があると考えられる。

ICT機器の使用場所　※複数回答可

★「教育の主役は対面教育。ICT活用は、必要に応じて補完的に」を希望

従来通りの対面型に補完としてICT活用が68%と圧倒的。ICTのみ、ICT主役は合わせても8%にとどまった。また、家庭での予復習に利用の意見も9%にとどまっている。母親の大半は、教師によるクラス制の対面指導という従来の学習法を希望している。

ICT活用に対する母親の希望

★ICT活用について希望する学習サービスは、多様

希望する学習は極めて多様といえる。母親は平均すると1人当たり3.7個の学習サービスを選択している。最も多かったのは「インターネットを使っていつでも自由に質問できる」で49%。「e-learningによる教科指導」が18%と低かったように、「教師対面授業が主役でICTは補完的に」の声が強いと思われる。そのような中、「e-learningによる英会話」の44%、「英単語・語句・知識の暗記」の32%は注目される数値である。

希望する学習サービス　※複数回答可

★栄光ゼミナールの「iPad mini学習」に、およそ5割の母親が関心を

今年度から、栄光ゼミナールではiPad miniを使った学習指導を導入している。そこで、回答者のお母様にPRのホームページをご覧いた  
だき感想を尋ねた。  
「関心が湧いた」「少し湧いた」を  
合計すると、49%とほぼ半分。学校  
や学習塾での導入例も少なく、まだ  
理解されにくいようだ。ソフトや指  
導法の開発はもちろんだが、保護者  
へのわかりやすい説明やPRが必要  
と感じた。

栄光ゼミナール「iPad mini学習」への関心

【アンケート調査について】

* 調査方法　　　　webによるアンケート調査  
   webサイト　　　女性向けクラウドソーシングサービス「Woman & Crowd 」  
   　　　　　　　　　　※サイバーエージェントグループ・株式会社STRIDEが運営
* ・実施時期　　　　平成26年9月
* ・対象と標本数　　「Woman & Crowd」の会員、母親500名(妊娠中を含む)

**自分のトップ校へ行こう。**

取材のお申し込み、お問い合わせは栄光ゼミナール広報室まで

栄光ゼミナール　広報室　徳高玲子、横田保美

TEL 03-5275-1685　FAX 03-5275-5348

**E-mail:** [**reiko-tokutaka@eikoh-hd.co.jp**](mailto:reiko-tokutaka@eikoh-hd.co.jp) **,** [**yokota@eikoh-hd.co.jp**](mailto:yokota@eikoh-hd.co.jp)

**栄光ゼミナールURL:　 http//www.eikoh-seminar.com**

**「iPad mini学習」:** **http://www.eikoh-seminar.com/topics2/2014/001924/**

【提供できる資料】

・すべての質問(次ページに掲載)に対して、回答の比率(%)を求めています。

・すべての質問に対して、年代別に回答の比率(%)を求めています。

・すべての質問に対して、政府方針の支持別に回答の比率(%)を求めています。

**【栄光ゼミナールの概要】**

会社名　：株式会社 栄光

　本　社　：東京都千代田区富士見二丁目11番11号

　代表者　：代表取締役社長　関田美三男

　設立年　：1980年７月

　事業内容：進学塾栄光ゼミナール、高等部ナビオ、個別指導専門塾ビザビの運営

　生徒数　：約7万人（直営の学習塾の生徒数として日本最大）

　校舎数　：約430校

**【Woman & Crowdの概要】**

女性の様々な働き方の支援を専門に行う株式会社STRIDEが運営する、18歳以上の女性を対象としたクラウドソーシングサービスです。時間や場所を選ばず、インターネット経由で仕事を受託できるプラットフォームとして、仕事をしたいワーカーと、仕事を依頼したいクライアント（個人・法人）をマッチングし、オンライン上で仕事の依頼、納品が可能な仕組みやサービスを提供します。アンケート回答やWebサイトの記事作成など、専門的な知識がなくても取り組むことができ、「女性の新しい働き方」を提案しています。（詳しくはコチラ⇒ https://womancrowd.jp/）

株式会社STRIDEは株式会社サイバーエージェントの100%子会社として、2014年9月1日に設立されました。

株式会社STRIDEのHPはコチラ⇒ http://stride-inc.co.jp/

**【アンケートの質問と選択肢】**

質問項目と回答の選択肢は次の通りです。

1. **年代を教えてください。**  
   選択肢：10代、20代、30代、40代、50代
2. **居住地域を教えてください。**  
   選択肢：北海道、東北地方、関東、北陸、東海、関西、中国、四国、九州、沖縄県、その他
3. **お子さまは何人いらっしゃいますか。**  
   選択肢：妊娠中、1人、2人、3人、4人、5人以上
4. **一番下のお子さまは何歳ですか。**  
   選択肢：妊娠中、0歳、1歳、2歳、3歳、4歳、5歳、6歳、7歳、8歳、9歳、10歳、  
   11歳、12歳、13歳、14歳、15歳、16歳以上
5. **あなたが持っている機器をすべて選択してください。【複数回答】**  
   選択肢：携帯電話、スマートフォン、自分専用タブレット、家族共用タブレット、  
   　　　　自分専用PC、家族共用、持っていない
6. **あなたがメールの送受信をするとき、最もよく使う機器を一つ選択してください。**選択肢：携帯電話、スマートフォン、自分専用タブレット、家族共用タブレット、  
   　　　　自分専用PC、家族共用、持っていない
7. **あなたがインターネット検索を使って調べものをするとき、最もよく使う機器を一つ選択してください。**  
   選択肢：携帯電話、スマートフォン、自分専用タブレット、家族共用タブレット、  
   　　　　自分専用PC、家族共用、持っていない
8. **あなたがよく使っているウェブサイトやサービスをすべて選択してください。【複数回答】**  
   選択肢： Yahoo!、Google、Amazon、楽天市場、YouTube、Twitter、 Facebook、 mixi、  
   　　　　アメブロ、使っていない
9. **お子さまに携帯電話やスマートフォンを持たせるならいつ頃がよいと思いますか。すでに持たせている場合は、いつからだったかを選択してください。**選択肢：小学校入学前、小学1,2年、小学3,4年、小学5,6年、中学生、高校生、それ以上
10. **文部科学省が2020年までに、生徒に1人1台のタブレットを配布するという方針を掲げていることをご存知ですか。**  
    選択肢：知っている、知らなかった
11. **生徒1人に1台のタブレットを持たせて教育に活用するという考え(政府の方針)に賛成ですか。**  
    選択肢：賛成、どちらかといえば賛成、どちらかといえば反対、反対
12. **21世紀型能力として情報リテラシーが大切と言われています。お子さまには、情報リテラシーを身に着けてほしいと望みますか。**選択肢：強く望む、望む、ふつう、それほどには望まない、望まない
13. **お子様の学習にIT機器を使用するとき、使用に適していると思うものをすべて選択してください。【複数回答】**  
    選択肢：スマートフォン(Android)、スマートフォン(iPhone)、タブレット(Android)、  
    　　　　タブレット(iPad, iPad mini)、ノートPC、デスクトップPC、使用する必要はない
14. **「お子さまの学習にIT機器を使用するとき、使用に適していると思うものをすべて選択してください。」その理由　【自由記述】**
15. **お子様の学習にIT機器を使用するとき、どこで使うのがよいと思いますか。すべて選択してください。【複数回答】**  
    選択肢：学校、家庭(居間)、家庭(子供部屋)、学習塾、電車バスなどの車中、  
    　　　　使用する必要はない
16. **お子様の学習にIT機器を使用するとき、どのような内容の学習に期待しますか。すべて選択してください。【複数回答】**  
    選択肢：算数・数学、国語、英語などの外国語、理科、社会、音楽や美術、  
    　　　　基本的なITリテラシーやマナー、プログラミングなどの専門的なIT技術、  
    　　　　使用する必要はない
17. **お子様の学習へのIT導入について、あなたの意見に最も近いものを一つ選択してください。**  
    選択肢：必要な学習すべてがIT機器で完結できるようになることが望ましい、  
    　　　　中心はIT機器使用した学習だが、サポートする教師や競い合うクラスメートは大切だ、  
    　　　　中心は従来通りの対面型の授業だが、必要に応じてIT機器を活用してほしい、  
    　　　　授業は従来通りの対面型で行われ、家庭での予習や復習にIT機器を使わせたい、  
    　　　　個人ごとにITを使うか使わないか選択できればよい、  
    　　　　学習にはできるだけITを導入しない方が望ましい、  
    　　　　わからない
18. **「http://www.eikoh-seminar.com/topics2/2014/001924」のウェブページを見た上で、栄光の「iPad mini学習」に関心がわきましたか。**  
    選択肢：関心が湧いた、少し関心が湧いた、ふつう、あまり関心は湧かない、  
    　　　　関心は湧かない
19. **「栄光の「iPad mini学習」に関心がわきましたか。」その理由　【自由記述】**
20. **現在、あなたが望まれるITを活用したお子さま向け学習サービスがあれば、教えてください。【複数回答】**  
    選択肢：海外の子どもたちとのインターネットによる対話や文通、インターネット検索を使った調べ  
    　　　　もの(情報収集)や資料作成、インターネットを使ってわからないことを自由に質問できる、イ  
    　　　　ンターネットを使ったグループ学習、反転授業(映像や資料で事前に予習して、授業は発表や  
    　　　　討論)、英単語・語句・知識などの暗記のドリル学習、e-learningによる英会話、e-learning  
    　　　　による教科指導、学習履歴や学習計画のサポート、お子さまの受験や教育に関する情報サー  
    　　　　ビス、あなたが先生にいつでも相談できる